

平成27年(2015年)8月7日
企画経営部 政策推進課

宝塚市人口ビジョンについての基本的な考え方

1 自然増減について

(1) 自然増(合計特殊出生率)について

- ① 人口減少問題の解決策として、出生数を増やすことは根本的な方法であり、重要である。
- ② 合計特殊出生率(以下「出生率」という。)の増加による人口増については、社会全体での取組が必要で、国の施策によるところが大きいと考えており、国、県、市町が一体となって取り組む必要がある。

【参考】

国の長期的ビジョン 2060年の人口：1億人を確保
出生率：2030年1.8程度 2040年2.07程度

兵庫県の人口ビジョン 2060年の人口：450万人
出生率：2040年1.83 → 2060年2.00

以上のことから、本市の出生率の将来展望については、次の数値を基に考える。

- ① 国の長期ビジョンで目標設定されている2.07(人口置換水準)を上限値とする。
- ② また、若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の出生率(国民希望出生率)1.8を下限値とする。
- ③ 兵庫県の人口の将来展望(案)で設定されている出生率(2.00)を参酌する。

*人口置換水準：人口規模が長期的に維持される水準

(2) 自然減について

国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が2005年～2010年の生存率をもとにした推計値を適用して算出した推計とする。

2 社会増減について

社会増減については、次の考え方に基づくものとする。

- ① 転出者を抑制し、転入者を増やす施策を講ずることで、人口の維持、増加を図る。
- ② 兵庫県の算出した推計(2010年～2014年の住民基本台帳人口異動報告の実績値(平均)に基づく移動率を適用して算出)に基づくものとする。